

令和5年12月20日

保護者各位

修明高等学校長

令和5年度学校評価アンケートの結果について

寒冷の候、保護者の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、11月に実施いたしました学校評価アンケートにつきましては、御多用中のところ御協力いただきまして誠にありがとうございました。

つきましては、結果について下記のとおり報告いたします。今回の結果をもとに、本校の教育活動の改善に生かしてまいりたいと存じます。

記

- 1 実施期日 令和5年11月6日～11月10日
- 2 有効回答数及び回収率
保護者307名(85.5%)、生徒348名(96.9%)、教職員59名(100%)
- 3 調査結果 本紙裏面及び別紙を御参照ください。
- 4 結果の分析の概要(「よく当てはまる」または「ほぼ当てはまる」を高評価としています。)

分野1：専門性の深化

保護者・生徒・教員ともに全ての項目で、昨年より「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」の割合が増加している。しかし、「わかりやすい授業」の項目については、「分からない」と回答する保護者が2割程度ある。

分野2：最適解の探究

昨年と同様に「主体的に学ぶ態度」の項目は、保護者・生徒・教員ともに他の項目より低い評価となったが、この項目内での「よく当てはまる」との回答は増えている。生徒の評価は、4項目で「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」との回答が9割を超えた。

分野3：地域への貢献

「主体的に地域と関わる態度」「PTA活動への参加」の項目において、保護者・生徒からの評価が低い。この2項目は、昨年度も他の項目と比較すると低い評価であった。「地域との連携」と「情報発信」は、保護者・生徒・教員ともに今年度も高い評価となった。

分野4：共生への視点

「教育相談」の項目で、「あまり当てはまらない」「分からない」と回答する保護者が多い。しかし、この項目は、保護者・生徒・教員ともに「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」との回答が昨年度より増加している。「学校行事」「基本的生活習慣」「規範意識」については、高い評価となった。

その他

「家庭学習時間」の項目は、保護者、生徒の回答において、「1時間以上2時間未満」と「1時間未満」の合計が8割を超えている。この結果は、昨年度も同様であった。「満足度」については、今年度も評価が高かった。

【全体を通して】

「主体的に学ぶ態度」についての評価を踏まえ、生徒が進んで学ぶ授業や活動の工夫に取り組んでまいります。重ねて、よい評価をいただいた項目について、現在の取組をさらに充実させてまいります。学校評価アンケート結果につきまして、御不明な点などがございましたら遠慮なくお問い合わせください。

5 その他

本調査結果、自由記述に記載のあった御意見に関する回答など、学校評価アンケートの詳細は、本校のホームページに掲載しております。

また、学校の紹介動画なども掲載されておりますので、ぜひ御覧ください。

→ <https://shumei-h.fcs.ed.jp/> (右のQRコードも御利用ください)



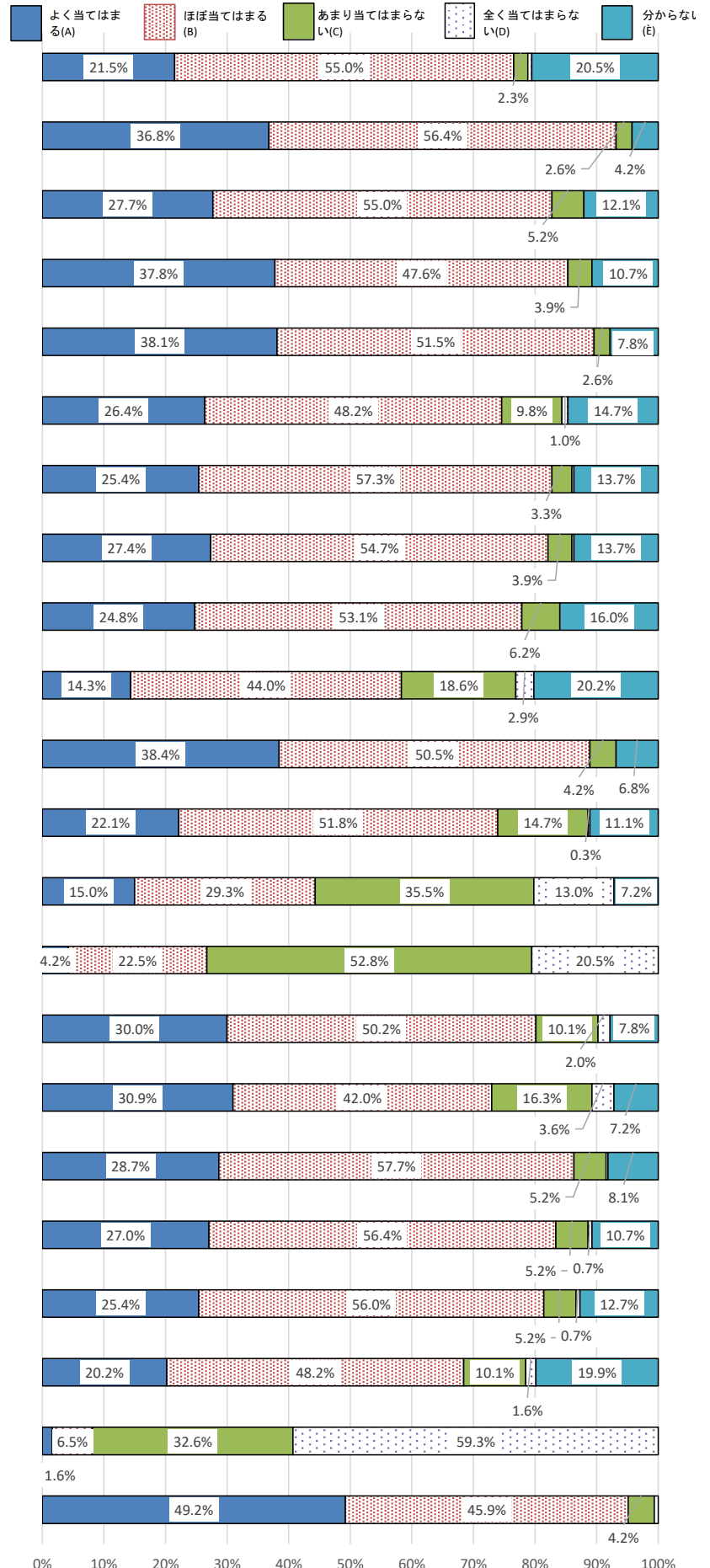
(事務担当：教頭 0247-33-3214)

学校運営に関する調査結果（保護者）

令和5年11月6日～10日実施

有効回答数 307名 回収率85.5%

分野	内容	質問項目
専門性の深化	わかりやすい授業	本校の教員は、板書やプリント、ICT機器の活用など、わかりやすい授業の工夫をしている。
	基礎・基本の定着	お子様が本校の授業を一生懸命受ければ、進路実現に必要な基礎・基本が身につく。
	個に応じた指導	本校の教員は、一人一人の学力や進路希望に沿って丁寧に授業をしている。
	実践や体験を重視した授業	本校では、実験や実習、外部講師の授業など、実践的・体験的な授業を設定している。
	資格取得	本校の教員は、各種の資格取得に対応した学習を熱心に指導している。
最適解の探究	進路情報の提供	お子様の進路希望実現に役立つ情報を、学校から適切に提供してもらっている。
	進路希望に応じた指導	本校で行っている課外、模試、面接指導、諸行事等は、お子様の進路希望実現に役立っている。
	進路意識の啓発	本校の教員は、お子様の適性や希望を生かし、学年に応じた進路指導をしている。
	課題解決力を養う機会	本校では、授業・実習・課題研究・LHR等を通して、自らが設定した課題を探究しようとする機会を設定している。
	主体的に学ぶ態度	お子様は、授業等で興味・関心を持った内容について、自主的に調べたりわかる人や先生に聞きに行ったりしている。
地域への貢献	地域との連携	本校の授業や学校行事等では、地域と連携する機会を設定している。
	地域理解と課題解決の機会	お子様は、本校の授業や学校行事等を通して、自分の住む地域への理解が深まった。
	主体的に地域と関わる態度	お子様は、授業以外でも、ボランティア活動や地域の行事に参加して地域と関わる機会がある。
	PTA活動への参加	私は、本校PTAの活動に積極的に参加している。
	情報発信	学校の情報は、ホームページ・メール・広報誌などを通して、積極的に発信されている。
共生への視点	部活動等	お子様は、生徒会活動や部活動、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる。
	学校行事	本校の学校行事は、お子様の人間性を成長させたり仲間との絆を深めたりするのに役立っている。
	基本的な生活習慣	本校の教員は、生徒の挨拶や礼儀作法について指導している。
	規範意識	本校の教員は、社会のルールやマナーの指導に熱心に取り組んでいる。
	教育相談	本校は、お子様の学校生活や人間関係、いじめなどの悩みを相談しやすい雰囲気や環境体制がある。
その他	家庭学習時間	お子様の昨日の家庭学習時間は？A…3時間以上、B…2時間以上3時間未満、C…1時間以上2時間未満、D…1時間未満
	満足度	お子様を、修明高校（本校）で学ばせて良かった。



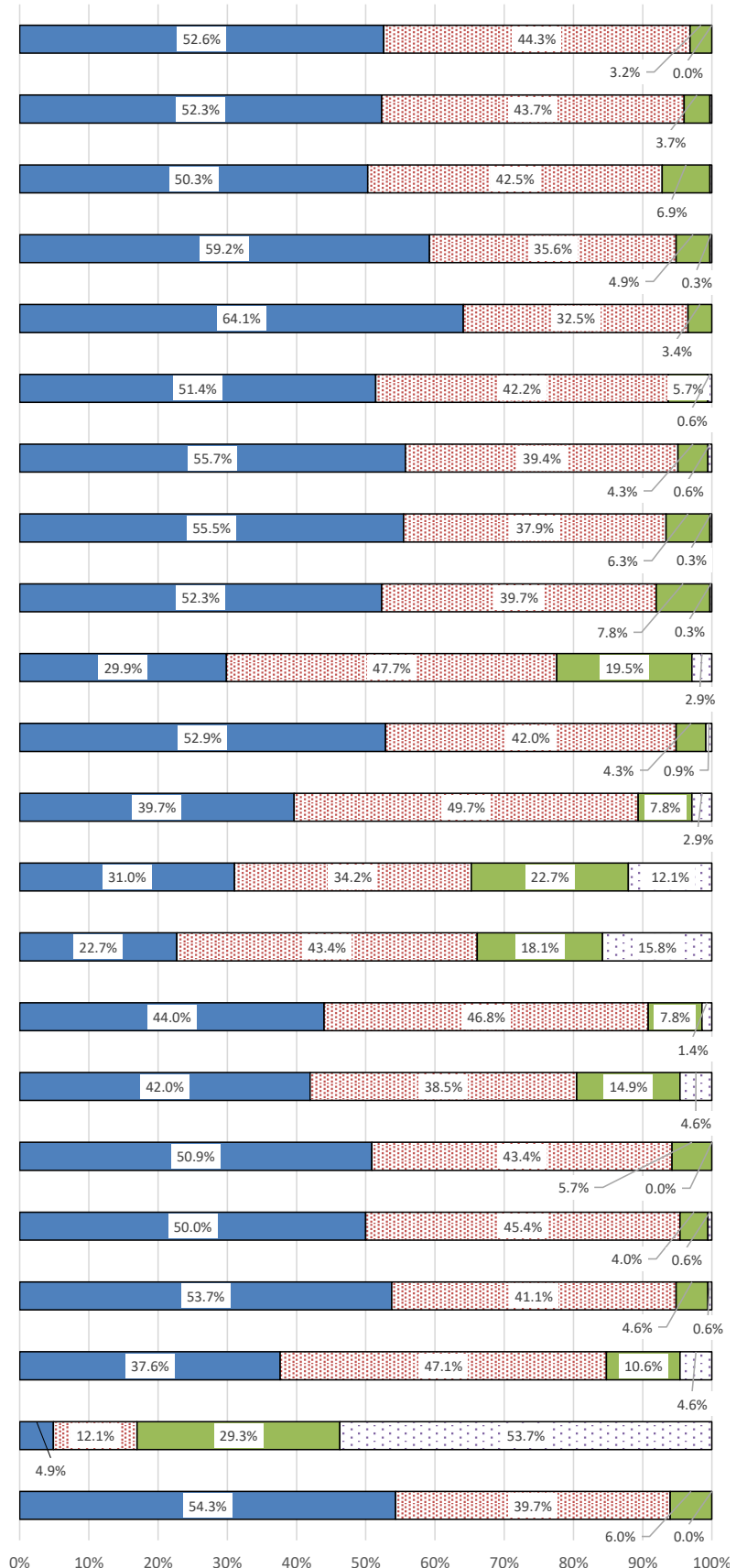
学校運営に関する調査結果（生徒）

令和5年11月6日～10日実施



有効回答数 348名 回収率 96.9%

分野	内容	質問項目
専門性の深化	わかりやすい授業	本校の先生方は、板書やプリント、ICT機器の活用など、わかりやすい授業の工夫をしている。
	基礎・基本の定着	本校の授業を一生懸命受ければ、進路実現に必要な基礎・基本が身につく。
	個に応じた指導	本校の先生方は、一人一人の学力や進路希望に沿って丁寧に授業をしている。
	実践や体験を重視した授業	本校では、実験や実習、外部講師の授業など、実践的・体験的な授業を設定している。
	資格取得	本校の先生方は、各種の資格取得に対応した学習を熱心に指導している。
最適解の探究	進路情報の提供	自分の進路希望実現に役立つ情報を、学校から適切に提供してもらっている。
	進路希望に応じた指導	本校で行っている課外、模試、面接指導、諸行事等は、自分の進路希望実現に役立っている。
	進路意識の啓発	本校の先生方は、自分の適性や希望を生かし、学年に応じた進路指導をしている。
	課題解決力を養う機会	本校では、授業・実習・課題研究・LHR等を通して、自らが設定した課題を探究しようとする機会を設定している。
	主体的に学ぶ態度	私は、授業等で興味・関心を持った内容について、自主的に調べたりわかる人や先生に聞きに行ったりしている。
地域への貢献	地域との連携	本校の授業や学校行事等では、地域と連携する機会を設定している。
	地域理解と課題解決の機会	私は、本校の授業や学校行事等を通して、自分の住む地域への理解が深まった。
	主体的に地域と関わる態度	私は、授業以外でも、ボランティア活動や地域の行事に参加して地域と関わる機会がある。
	PTA活動への参加	私の保護者は、本校PTAの活動に積極的に参加している。
	情報発信	学校の情報は、ホームページ・メール・広報誌などを通して、積極的に発信されている。
共生への視点	部活動等	私は、生徒会活動や部活動、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる。
	学校行事	本校の学校行事は、自己の人間性を成長させたり仲間との絆を深めたりするのに役立っている。
	基本的な生活習慣	本校の先生方は、生徒の挨拶や礼儀作法について指導している。
	規範意識	本校の先生方は、社会のルールやマナーの指導に熱心に取り組んでいる。
	教育相談	本校は、学校生活や人間関係、いじめなどの悩みを相談しやすい雰囲気や環境体制がある。
その他	家庭学習時間	昨日の家庭学習時間は？A…3時間以上、B…3～2時間、C…2～1時間、D…1時間未満
	満足度	私は、修明高校（本校）で学んで良かった。

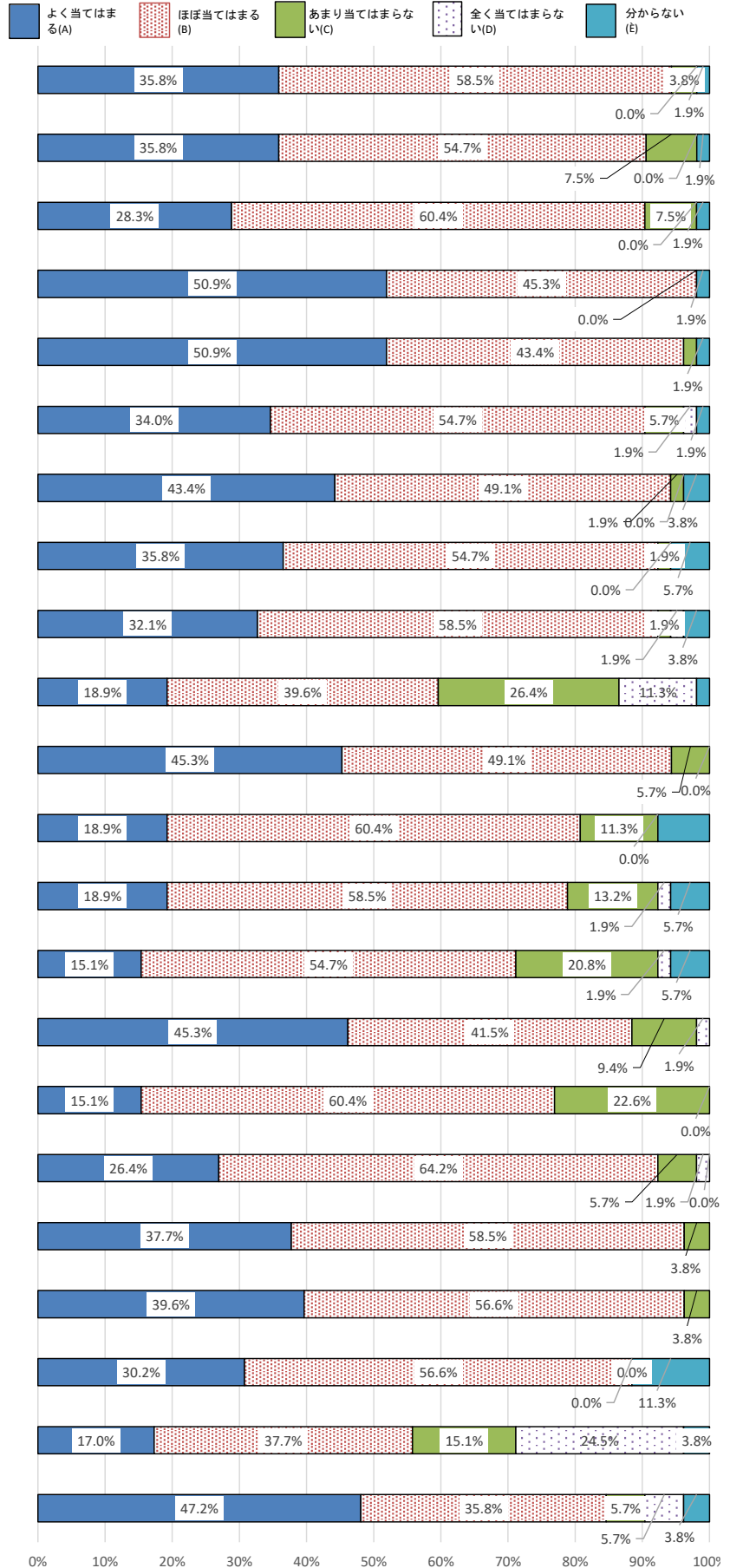


学校評価に関する調査結果（教員）

令和5年11月6日～10日実施

有効回答数59名 回収率100%

分野	内容	質問項目
専門性の深化	わかりやすい授業	私は、板書やプリント、ICT機器の活用など、わかりやすい授業の工夫を心掛けている。
	基礎・基本の定着	私の授業では、生徒の進路実現に必要な基礎・基本の定着を意図している。
	個に応じた指導	私は、一人一人の学力や進路希望に沿って丁寧に授業をしている。
	実践や体験を重視した授業	本校では、実験や実習、外部講師の授業など、実践的・体験的な授業を設定している。
	資格取得	本校では、各種の資格取得に対応した学習を熱心に指導している。
最適解の探究	進路情報の提供	本校では生徒の進路希望実現に役立つ情報を適切に提供している。
	進路希望に応じた指導	本校で行っている課外、模試、面接指導、諸行事等は、生徒の進路希望実現に役立っている。
	進路意識の啓発	本校では、生徒一人一人の適性や希望を生かし、学年に応じた進路指導をしている。
	課題解決力を養う機会	本校では、授業・実習・課題研究・LHR等を通して、自らが設定した課題を探究しようとする機会を設定している。
	主体的に学ぶ態度	生徒は、授業等で興味・関心を持った内容について、自主的に調べたり先生のところに聞きに来たりしている。
地域への貢献	地域との連携	本校の授業や学校行事等において、地域と連携する機会を設定している。
	地域理解と課題解決の機会	生徒は、本校の授業や学校行事等を通して、自分の住む地域への理解が深まった。
	主体的に地域と関わる態度	生徒は、授業以外でも、ボランティア活動や地域の行事に参加して地域と関わる機会がある。
	PTA活動への参加	本校の保護者は、PTA活動に積極的に参加している。
	情報発信	学校の情報は、ホームページ・メール・広報誌などを通して、積極的に発信している。
共生への視点	部活動等	生徒は、生徒会活動や部活動、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる。
	学校行事	本校の学校行事によって、生徒の人間性や社会性を成長させる機会を作っている。
	基本的な生活習慣	私は、生徒の挨拶や礼儀作法について指導している。
	規範意識	私は、社会のルールやマナーの指導に熱心に取り組んでいる。
	教育相談	本校は、生徒の学校生活や人間関係、いじめなどの悩みを相談しやすい雰囲気や環境体制がある。
その他	家庭学習時間	課題を出す頻度は？ A…毎週、B…考查前、C…毎学期、D…ほとんど出さない
	満足度	私は、修明高校（本校）に勤務して良かった。



令和5年度学校評価アンケート 意見・要望等に対する回答

自由記述には、下記のように多くの意見をいただきました。なお、△の意見は、学校としての回答を記載しております。

情報発信について

◎お便り等の周知方法

△娘が手紙を見せるのを忘れる率が多いので、PTAの集まりも行くべきなのかわかりません。必要があれば行きます。保育園から小学校までは連絡網アプリを利用して見やすいです。メールだと見忘れが多いので気づかない時もあります。マチコミアプリ等、色々ありますのでご検討お願いいたします。（保護者）

→PTAの活動や学校行事等に関するお知らせを学級で配付する際には、保護者に渡すよう各担当が伝えております。御家庭でも学校からの文書が配付されていないか声を掛けていただき、学校からの情報が伝わるように御家庭と連携して取り組んでいきたいと考えます。御協力をお願いいたします。また、保護者の方へのメールでの連絡につきましても、同じ内容を生徒に伝えた上で配信する場合がございますので、文書と同様にお子様へ声を掛けていただきますようお願いいたします。連絡のためのアプリ利用につきましては、今後検討していきたいと考えます。

◎授業や活動等についての周知

△本人が学校のことをあまり話さないのによくわかりません。（保護者）

△学校行事、授業風景等、SNSでの発信がもう少し多いと学校での生活が分かって良いかと思えます。（保護者）

→授業や活動につきまして、学校のホームページやSNS（Instagram）に随時掲載しておりますが、今年度は、福島県教育委員会の情報発信サイト「note」を利用しての発信もスタートしております。これらで学校の様子を発信しておりますが、さらに周知に努めてまいります。また、授業公開を毎年11月上旬に実施しております。ぜひ来校いただきまして、授業や生徒の様子を参観ください。

生徒の学習や学校生活について

◎授業

△世界情勢にあわせた農作物や燃料の高騰などの対応策などでき得る事やサバイバル的な生き残り術など少しでも学べたら心強いのですが…。（保護者）

△せっかくの専門科なので、もっと多くの実習、体験を学ばせたい。せっかくの田舎を利用した地域の活動も活かし、周りに何も無いけど修明で良かったと思えるような修明はこんなこともするんだと新たな試みも検討していただきたいです。（保護者）

△外国語の指導をされる海外の方との交流がもっとあれば英語力が身に付くのではないかなと思えました。（保護者）

→各学科の教育課程や特色に応じた教育活動の充実に取り組んでいますが、いただきました御意見を参考に、修明高校としての強みを生かしながら、生徒の力を育む活動をさらに検討し、実施していきたいと考えます。

△ 授業中にふざけている生徒にもっと強く言った方がいいと思います。(生徒)
→授業の際、集中することや、教員や他の生徒の話を聞くことは、学ぶ上での基本
です。また、ふざけることは、他の生徒の学ぶ権利を妨げることにもなります。
授業中の態度について、これからも十分指導するとともに、生徒の学ぶ意欲を高め
る授業づくりを行います。

◎ ICTの活用

△ 時代が変わってるから電子機器を活用した方が良いと思う。(生徒)
→生活の中での電子機器の活用は、日々進歩しています。本校では、ICTを活用し
た取組として、全学年での「ロイロノート」の活用、1学年での「スタディサプリ」
の導入、各授業でのプロジェクタの利用、農業科でのスマート農業体験などを実施
しています。学校でのICT活用は、学びを深めるための一つの方法・手段ですが、
時代に対応した電子機器の活用の工夫に今後も取り組んでまいります。

進路指導に関して

△現在所属している科とは別の進学を希望するなら文理科の方がスムーズなのかなとは学
力的にも感じるが、本人のこれからの努力が必要と思う。(保護者)
→各学科で教育課程の違いはありますが、生徒の進路実現を目指す指導は、どの学科も
変わりありません。学校と家庭が連携・協力し、進路に向けた生徒一人一人の取組を
支えてまいります。いつでも担任もしくは進路指導部へ御相談ください。

部活動について

△部活動で時間が守られていない。定期代がもったいない。子どもの送迎だけで時間が取
られてしまう。子どもは1人だけではないので大変です。(保護者)
→部活動については、学校ホームページにも掲載しております「修明高校部活動方針」
にあるように、練習時間の上限は、平日2時間、休日3時間を原則としております。
この活動時間とともに、生徒の自主的な練習時間についても、再度部活動担当者と確
認してまいります。